

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市支援センターみらい		
課 名	精神保健福祉課		
指定管理者名	公益社団法人 静岡県精神保健福祉会連合		
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和8年2月19日（木）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 吉引 裕（精神保健福祉課長） ②委 員 松田 毅（こころの健康センター事務長） ③ “ 望月 巖（駿河区障害者支援課長） ④ “ 田中 幸子（ソーシャルワーク清水） ⑤ “ 劉 瑛哲（特定非営利活動法人 ひまわり事業団）		
評価点 (各委員平均点)	81.2点	評価	A・ B ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	総合評価結果を踏まえると、本事業は、精神障害のある方の地域生活を支える拠点として、相談支援、退院支援等の各事業を概ね適切に実施してきたものと評価している。限られた人員体制の中においても、職員の専門性やピアの視点を活かし、関係機関や地域資源と連携した支援が継続的に行われてきた点は、本事業の成果として評価できる。 一方で、地域活動支援センター事業における利用者数の推移や、市民全体への情報発信の在り方、相談件数の増加に伴う支援の質の維持等については、評価委員会からも課題として指摘されたところである。 これらの評価結果及び指摘事項を踏まえ、これまでの事業運営を通じて得られた知見や課題については、今後の精神保健福祉施策や関連する取組の検討において、適切に整理し、活用していく必要がある。		

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡市支援センターみらい] 課名 [精神保健福祉課]
 指定管理者名 [公益社団法人 静岡県精神保健福祉会連合]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点45点】						
(ア) 事業計画書等 に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。	14	16	15	20	18	16.6
(イ) 地域活動支援センター事業について、延べ利用者数の目標を達成した。	1	1	1	1	1	1
(ウ) 一般相談支援事業について、延べ相談件数の目標を達成した。	5	5	5	5	5	5
(エ) 運営委員会を設置、開催し、運営委員会の評価及び意見を施設の運営に反映させた。	4	5	3	3	4	3.8
(オ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。	5	5	5	5	5	5
(カ) 利用者の個人情報 を適正に管理した。	4	5	5	5	5	4.8
小 計	33	37	34	39	38	36.2
2 指定管理者の創意工夫 【配点20点】						
(ア) 指定管理者からの提案による指定管理者の技術・経験を活かした事業が実施された。	14	16	17	20	17	16.8
小 計	14	16	17	20	17	16.8
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査において目標を達成した。	5	5	5	5	5	5
(イ) 利用者の意見、要望及び苦情等を受け付け、速やかに対応する体制を整備した。	4	4	4	4	5	4.2
(ウ) 市民や利用者に向けた情報提供等が積極的に実施された。	3	4	1	4	3	3
小 計	12	13	10	13	13	12.2
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 利用者の状況を適切に把握し、利用者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう個々の目標に応じた適切な支援を行った。	4	4	3	4	3	3.6
(イ) 困難事例に対し、関係機関と適切に連携し、課題解決に向けた取組を行った。	4	4	4	5	5	4.4

(ウ) 退院支援に関する支援により、地域移行の促進を行った。	3	4	4	3	4	3.6
(エ) 地域の相談支援事業者に対する人材育成の支援や、自立支援協議会・各部会への参画等を通じて、地域における相談支援体制の強化を図った。	4	4	4	5	5	4.4
小 計	15	16	15	17	17	16
合 計	74	82	76	89	85	81.2

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・地域活動支援センター事業について、目標の設定が現状とかい離していると感じた。また、相談支援事業においては、実績（4,651件）が目標（2,400件）を大幅に上回っている。地域活動支援センター職員も含めて対応しているとのことであるが、相談の質の維持について懸念がある。
- ・人員が限られている中で、地域活動支援センター事業と相談支援事業をうまく結び付けた取組が行われている
- ・地域ボランティアの育成やピアサポーターの活用など、人材育成支援の必要性については認識されていることが分かった。

【B評価委員】

- ・事業計画書及び業務仕様書に基づき、各事業は概ね計画どおり実施されており、相談支援事業や退院支援事業については、目標件数を上回る実績を上げている。地域活動支援センター事業については、年度によって利用者数が目標に達しない状況も見られたが、利用者増加に向けた工夫や、利用者ニーズを踏まえた取組が行われており、全体として適切に履行されている。
- ・精神保健福祉分野における長年の知見とネットワークを活かし、医療機関や地域関係者との連携、ピアの視点を取り入れた支援など、指定管理者ならではの取組が随所に見られた。特に、困難事例への対応や退院支援においては、関係機関との調整を丁寧に行い、地域移行の促進に寄与している点は一定の評価ができる。
- ・利用者満足度調査において高い評価を維持しており、職員の丁寧な対応や施設の雰囲気づくりが、利用者の安心感につながっている。また、利用者意見への対応体制も整備されており、サービス向上に向けた取組が継続的に行われている。一方で、市民全体への情報発信については、さらなる工夫の余地がある。
- ・利用者一人ひとりの状況を丁寧に把握し、相談支援、地域活動支援を組み合わせた包括的な支援が行われている。また、地域の相談支援事業者への助言や人材育成への貢献も大きく、地域全体の相談支援体制の底上げに寄与してきたものと評価できる。
- ・指定管理期間を通じ、支援センターみらいは、精神障害のある方の地域生活を支える拠点として、各事業を着実に実施してきた。限られた人員体制の中においても、専門職を活かした丁寧な支援が行われ、一定の成果を上げたものと評価できる。一方で、他のサービス事業所の増加等を背景に、利用者数がこの10年で大幅に減少するなど、事業を取り巻く環境の変化により、継続的な実施が難しい状況となったことについては、やむを得ない側面があると考えられる。

【C評価委員】

- ・地域活動支援センター事業について、様々なプログラムを企画・実施している点は評価できる。一方で、利用者数は減少しており、実施した取組が利用者側のニーズに合っていたのかについて、検証する必要があるのではないかと考える。
- ・みらい独自のつながりを活かし、当事者会や法律の専門家への相談会を実施している点は評価できる。
- ・ピアサポーターの力を借りて、市民向けに情報発信を行う機会があってもよいのではないかと。

・退院支援に関して、みらいが関わったことにより、どれだけの方が退院に至ったのかを数値として示すことができれば、退院支援に地域事業者が関わる意義が、より伝わるのではないかと考える。 ・限られた職員数の中で、多くの相談に対応してきた点は高く評価できる。また、地域活動支援センター事業においては、みらいの職員の強みを活かした独自のプログラムが実施されていたため、より広く周知できていれば、さらに良かったのではないかと考えられる。
【D評価委員】 ・ピアサポーター等、個々の職員の専門性を活かすための努力とともに、他機関との相互理解を深め、利用者に資する対応につなげている。 ・利用者・相談者の生活課題を、民生委員等の地域の支援者と共有しつつ対応する姿勢が意識されている。 ・困難事例において、他の地域資源との連携を重視し、抱え込まず、専門機関の強みを活かした支援を実施するよう注力されていることは高く評価できる。 ・数値的な評価だけでは表せない部分において、職員の専門性を活かし、地域資源との連携を基本とした地道な支援につなげている様子が見られた。以前と比較して、利用者主体、地域に軸足を置いた支援が実施されている印象を受けた。
【E評価委員】 ・全ての職員が資格を持っている ・ピアスタッフを採用し、ピア活動に力を入れている。（当事者目線での意見を大事にしている。） ・バリアフリープロモーター講座による住民ボランティアフォローアップ育成を行っており、大学等実習生を積極的に受け入れた。 ・良好な管理運営がされていた。
評価委員会としての意見 指定管理期間を通じ、支援センターみらいは、精神障害のある方の地域生活を支える拠点として、相談支援、退院支援、地域活動支援センター事業等を着実に実施してきた。限られた人員体制の中においても、職員の専門性やピアの視点を活かし、関係機関や地域資源と連携した支援が行われている点は高く評価できる。 一方で、地域活動支援センター事業における利用者数の減少や、市民全体への情報発信の在り方については、事業環境の変化も踏まえた検証や工夫の必要性が指摘された。 また、相談件数の増加に伴う支援の質の維持や、退院支援の成果をより分かりやすく示す工夫についても、課題として挙げられた。